

市街地クマ出没対策チーム（通称：アーバンベア対策チーム）の設置について

1. 目的

- 近年、クマの市街地等への出没が相次ぎ、多くの人身被害が発生。「クマ被害対策ロードマップ」（令和 8 年 3 月 関係閣僚会議決定）に基づき、緊急対応・出没防止・個体数管理の強化等に関係省庁連携で取り組む。
- 個体数管理は科学的知見に基づく中長期的課題。一方、生活圏への出没の未然防止と市街地出没時の対応は喫緊の課題。
- 市街地へのクマ出没対策の推進に向けた体制強化のため、自然環境局に新たな対策チームを設置。

2. 名称・体制等

（１）名称

- 市街地クマ出没対策チーム
通称：アーバンベア対策チーム（UBT）



（２）体制

- 自然環境局長をチーム長とし、副長・幹事・チーム員を配置
- 本省職員及び地方環境局のクマ対策専門官等で構成／約20名

3. 取組内容

（１）市街地出没に備えた安全対策の強化

クマ出没対策コンサルティング実証事業

（２）クマ被害対策に係る技術の導入促進

市街地等におけるクマ対策に係る技術導入実証事業

（１）市街地へのクマ出没に備えた安全対策の強化

■ クマ出没対策コンサルティング実証事業

- ◆ クマ対策の知見・経験が乏しい自治体（※１）に対して、その地域に最適な対策（※２）を助言・実践できる専門家チームによるコンサルタントを実施。

（※１）近年クマの出没が確認されるようになった地域等であって、クマ対策の知見や経験は乏しいが対策強化を検討している自治体
（※２）計画・マニュアル作り、緊急銃猟等の訓練、刈払いや誘因物の除去、ドローン活用など対策は幅広く想定

【概要】

選定された自治体ごとに、相談役＋クマ対策の専門家による専門家チーム（２～３名程度）を編成
専門家チームは、現地調査、打ち合わせ、地域課題の分析、対策案の提案、一部の対策の試行、効果検証等を自治体と協働して実施

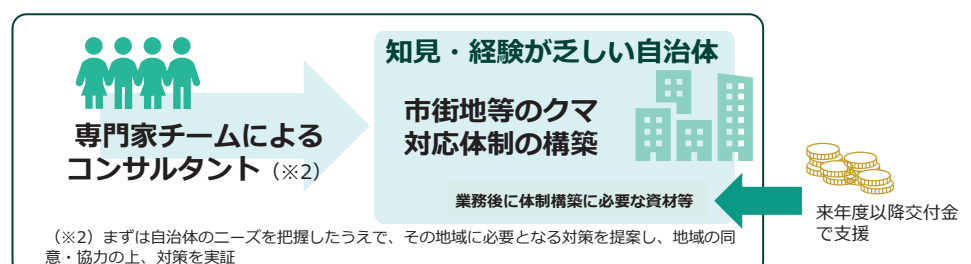
【募集対象】

以下の要件を満たす自治体（都道府県、市町村）を対象

- ・ クマ対策の知見・経験が比較的少ないこと
- ・ 人の生活圏におけるクマ出没への対策強化を検討していること
- ・ 打合せ、現地調査、対策案の磨き上げ、一部の対策の試行、効果検証等に、専門家チームと協働して取り組むことができること
- ・ 実証期間中に担当者を配置できること

【選定件数】

10 件程度
（総額5000万以内で実証）



知見・手法の「横展開」へ

(2) クマ被害対策に係る技術の導入促進

■ 市街地等におけるクマ対策に係る技術導入実証事業

- ◆ 企業等から提案があった技術の活用可能性を検証（クマ対策に活用可能な技術か）

【公募対象】

企業、研究機関、地方公共団体、これらを構成団体とする協議会等。自治体と調整・連携がされているなど、具体的な実施地域が見込まれている案件が対象

【対象事業】

ドローン、カメラ、センサー、ロボット、アプリ等の A X ・ D X 等の技術を活用した市街地等におけるクマ対策を実証する事業を対象（以下のとおり）

区分	想定される対策
市街地等におけるクマ出没時の対策	監視・パトロール、警告・アラート、追跡、避難誘導、追い払い、不動化・捕獲等、被害対策や効果的な捕獲方法
市街地等へのクマの出没を抑制する対策	監視・パトロール、追い払い、管理捕獲、ゾーニング管理計画策定、誘引物管理、藪等の隠れ場所・移動経路の把握・対策

【事業申請額】

1件あたり申請額は1,000万円程度を目安

【選定件数】

10 件程度

